



# パラオだより

第6号

## ウンドーカイ特集号

あけましておめでとうございます！

さて、今回は12月16日(2022年の最後の登校日)に筒井先生がアルモノガイ小学校で企画したウンドーカイ(パラオ語)について書きます。この日は、クリスマスデイというイベントの日でもありましたが、どんな様子の1日だったのか見ていきましょう！



### たくさん集まったプレゼント

職員室のクリスマスツリーの近くにたくさんのプレゼントが置かれています。うちの人が持ってきたものです。それぞれのプレゼントには子ども達の名前が書いてありました。どんなふう子ども達に渡されるのでしょうか。

### 玉入れ

ウンドーカイ第1種目は玉入れからです。玉は、学校にあった古紙を丸めたもので、カゴは8年生の担任の先生がココナッツリーフを編んで作っていただきました。カゴの大きさが同じでなかったために、それぞれ入る玉の上限が違うというハプニングが発生しましたが、みんな楽しんでいました。



### パン食い競争

ドーナツを60こ買い、調理員さんと一緒に1こずつビニールにつめたものをヒモから吊るし、パン食い競争をやりました。観客席からたくさんの笑い声が上がりました。やるのを見るのも楽しい競技ですね。

途中でドーナツが足りなくなって慌ていたら、別の冷蔵庫に入っていたというハプニングも起きましたが、全員ドーナツをゲットすることができました。



## ズンバの時間

応援に来てもらっていた別の隊員(体育専門の隊員)にズンバ(パラオではやっているダンスの一種)をやってもらいました。先生、子ども、地域の人たちが一緒になって踊る姿がとても感動的でした。



## 騎馬戦

パラオの子ども達にも騎馬戦のやり方を教えました。やはり運動会の花形。一番盛り上がる競技なのはどこの国でも同じ！！

落馬して、悔しさで泣き出す子もいましたがそれも勉強ですね。

クリスマスデーなので、赤白帽ではなく、サンタ帽で勝負してもらいました。

## プレゼントわたし

サンタさんから最初の写真にあったプレゼントが一人一人手渡しされました。

サンタさんをやっているのは、ズンバの体育隊員です。

サンタのコスプレができて(?)とてもうれしそうな様子でした。



## ソーラン節

大トリの種目はソーラン節でした。

3か月の練習の成果。文句を言う子も、練習を投げ出しそうになる子もいました。みんな一生懸命におどってくれました。

おどりが終わったあと、観客席からは割れんばかりの拍手が起きました。

筒井先生がこっそり泣いてしまったのはここだけのヒミツです。